

ステータス

インターフェース	2
イーサネットの設定	2
内部ネットワーク用インターフェース	2
ゲストネットワーク用インターフェース	2
ポート状態	3
無線 LAN 設定	3
無線 1/無線 2	3
内部ネットワーク用インターフェース	3
ゲストネットワーク用インターフェース	3
イベント	5
オプション	5
重要度	6
ログのリレー	6
イベント	6
ログの消去	7
送信/受信	8
送信	8
受信	9
クライアント	10
隣接アクセスポイント	11
WDS	13

インターフェース

本製品のインターフェースに関する情報を表示します。



イーサネットの設定

「編集」リンクをクリックすると、「詳細設定」/「イーサネット設定」画面に移動します。

内部ネットワーク用インターフェース

項目名	説明
MAC アドレス	本製品の MAC アドレスを表示します。
VLAN ID	本製品が所属する VLAN の ID を表示します。
IP アドレス	本製品の IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	使用しているネットワークのサブネットマスクを表示します。

表 1:

ゲストネットワーク用インターフェース

項目名	説明
MAC アドレス	本製品の MAC アドレスを表示します。
VLAN ID	ゲストネットワークが所属する VLAN の ID を表示します。
サブネットマスク	使用しているネットワークのサブネットマスクを表示します。

表 2:

ポート状態

項目名	説明
リンク状態	イーサネットポートのリンク状態を表示します。
リンク速度	イーサネットポートのリンク速度を表示します。

表 3:

無線 LAN 設定

「編集」リンクをクリックすると、「詳細設定」 / 「無線 LAN 設定」画面に移動します。

無線 1/無線 2

項目名	説明
MAC アドレス	本製品の MAC アドレスを表示します。
モード	無線電波の種類を表示します。
チャンネル	本製品と、無線 LAN カードなどの無線クライアント間の無線通信で使用するチャンネルを表示します。

表 4:

内部ネットワーク用インターフェース

項目名	説明
MAC アドレス	本製品の MAC アドレスを表示します。
ネットワーク名 (SSID)	本製品のネットワーク名を表示します。

表 5:

ゲストネットワーク用インターフェース

項目名	説明
MAC アドレス	本製品の MAC アドレスを表示します。
ネットワーク名 (SSID)	ゲストネットワークのネットワーク名を表示します。

表 6:

イベント

本製品に発生したイベント情報を表示します。



オプション

ログの記録方法に関する設定を行います。

1. 必要に応じて、項目を設定してください。
2. 「適用」ボタンをクリックしてください。

項目名	説明
ログの保持	再起動時にログを保持するか否か。 保持する場合は「有効」、しない場合は「無効」を選択します。 デフォルトは「無効」です。
重要度	表示するログの最低レベルを選択します。 0（重大な障害）～7（詳細な情報）が選択可能です。 デフォルトは「7」です。

ログ件数	保存するログの数を 128 までの数値で設定します。 デフォルトは「128」です。
------	--

表 7:

重要度

項目名		説明
0	Emergency	システムが使用できない状態
1	Alert	直ちに対応しなければならない状態
2	Critical	深刻な状態
3	Error	エラーが発生している状態
4	Warning	前兆が見られる状態
5	Notice	正常だが注意が必要な状態
6	Informational	情報メッセージ
7	Debug	デバッグレベルのメッセージ

表 8:

ログのリレー

Syslog サーバーに関する設定を行います。

1. 必要に応じて、項目を設定してください。
2. 「適用」ボタンをクリックしてください。

項目名	説明
ログのリレー	「チェックあり」にすると、イベントログを Syslog サーバーに出力します。 デフォルトは「チェックなし」です。
リレーホスト	イベントログを出力する Syslog サーバーの IP アドレスを入力します。 (例) 10.10.1.200
リレーポート	イベントログを出力する Syslog サーバーのポート番号を入力します。 デフォルトは「514」です。

表 9:

イベント

項目名	説明
時間	イベントが発生した時刻または稼働時間を表示します。
タイプ	ログメッセージのタイプを表示します。重要度に一致します。

サービス	ログを出力したモジュール名を表示します。
説明	本製品に発生したイベント情報を表示します。

表 10:

ログの消去

現在記録されているログの消去は、「すべて消去」ボタンをクリックしてください。

送信/受信

本製品の送受信の統計情報を、イーサネット/無線 1/無線 2、内部ネットワーク/ゲストネットワークごとに表示します。

- フレームサイズが 1544 バイトを超えるパケットは、正常にカウントすることができません。
- 「送信」と「受信」における「総パケット数」「総バイト数」「総エラー数」のカウンターの周回が発生するとき、実際のカウント値より「1」少ない値となります。

このアクセスポイントの送受信統計情報

タイプ	イーサネット		無線 1		無線 2	
	内部ネットワーク	ゲスト	内部ネットワーク	ゲスト	内部ネットワーク	ゲスト
ネットワーク	内部ネットワーク	ゲスト	内部ネットワーク	ゲスト	内部ネットワーク	ゲスト
IPアドレス	192.168.1.230					
無線 LAN 設定						
無線						
MACアドレス	00:09:41:E8:7B:60		00:00:00:00:00:00		00:09:41:E8:7B:70	
VLAN ID						
SSID	allied		allied guest		allied guest	

タイプ	イーサネット		無線 1		無線 2	
	内部ネットワーク	ゲスト	内部ネットワーク	ゲスト	内部ネットワーク	ゲスト
ネットワーク	内部ネットワーク	ゲスト	内部ネットワーク	ゲスト	内部ネットワーク	ゲスト
総パケット数	11016	0	0	0	337	0
総バイト数	5509058	0	0	0	48558	0
スループット (Mbps)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総エラー数	0	0	0	0	0	0

タイプ	イーサネット		無線 1		無線 2	
	内部ネットワーク	ゲスト	内部ネットワーク	ゲスト	内部ネットワーク	ゲスト
ネットワーク	内部ネットワーク	ゲスト	内部ネットワーク	ゲスト	内部ネットワーク	ゲスト
総パケット数	9744	0	0	0	216	0
総バイト数	1468647	0	0	0	19559	0
スループット (Mbps)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
総エラー数	0	0	0	0	0	0

項目名	説明
IP アドレス	本製品の IP アドレスを表示します。
MAC アドレス	インターフェースごとの MAC アドレスを表示します。
VLAN ID	本製品の VLAN ID を表示します。
SSID	インターフェースごとのネットワーク名 (SSID) を表示します。

表 11:

送信

項目名	説明
総パケット数	送信したパケット数を表示します。
総バイト数	送信したバイト数を表示します。
スループット (Mbps)	送信時のスループットを表示します。
エラー数	送信したエラー数を表示します。

表 12:

受信

項目名	説明
総パケット数	受信したパケット数を表示します。
総バイト数	受信したバイト数を表示します。
スループット (Mbps)	受信時のスループットを表示します。
エラー	受信したエラー数を表示します。

表 13:

クライアント

無線クライアントの接続状態を表示します。接続中の無線クライアントは、送受信情報が表示されます。



項目名	説明
無線	接続している無線インターフェースを wlan0（無線 1）または wlan1（無線 2）で表示します。
ステーション	接続している無線クライアントの MAC アドレスを表示します。
ステータス	無線クライアントの IEEE 802.11 における認証と接続（アソシエイト）の状態（Yes/No）を表示します。 (IEEE802.1x モードで動作している場合、正しい結果を反映していません)
←ステーション	本製品が無線クライアントから受信したデータのパケット数、バイト数を表示します。
→ステーション	本製品から無線クライアントに送信したデータのパケット数、バイト数を表示します。

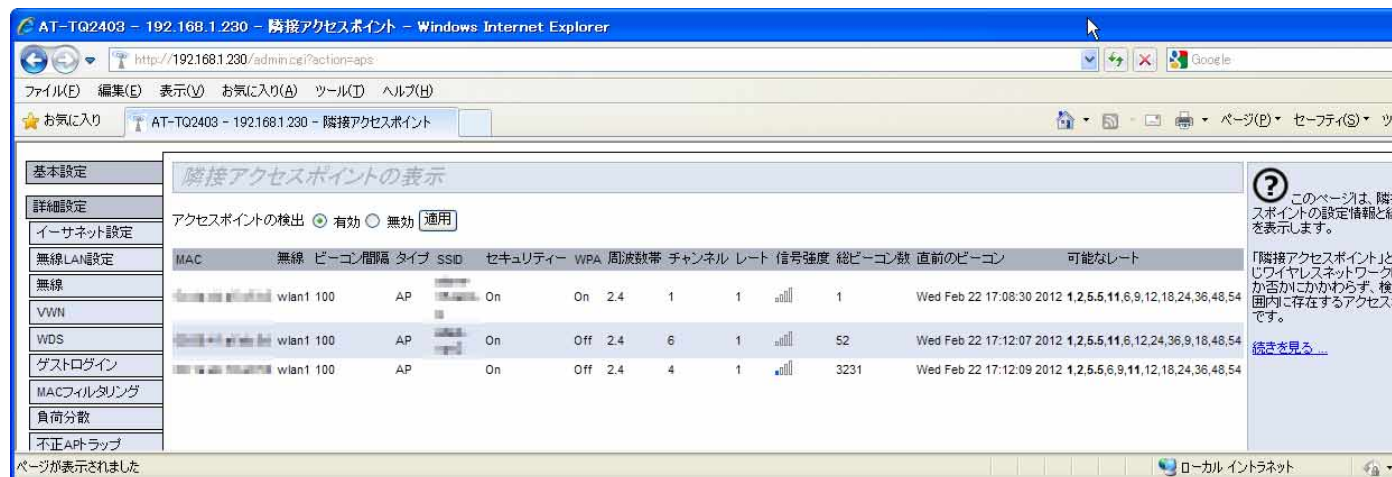
表 14:

本製品は、データの交換が発生していないときでも、2～3 秒ごとに無線クライアントにパケットを送信し、常に各無線クライアントの接続を確認しています。これにより、アクセスポイントは、通常のトラフィックが交換されていないときでも、無線クライアントが範囲外に出てしまったことを検出できます。無線クライアントが見えなくなると、300 秒以内に接続中の無線クライアントのリストから消えます。

隣接アクセスポイント

本製品の周辺に存在するアクセスポイントを検出し、詳細な情報を表示します。ご購入時には、この機能は無効となっています。有効にするには、次の手順を実行してください。

1. 「アクセスポイントの検出」で「有効」を選択してください。
2. 「適用」ボタンをクリックしてください。



この画面は「アクセスポイントの検出」を「有効」にした状態です。

「詳細設定」/「不正 AP トラップ」に関連情報があります。

項目名	説明
MAC	検出したアクセスポイントの MAC アドレスを表示します。
無線	無線インターフェースを wlan0（無線 1）または wlan1（無線 2）で表示します。
ビーコン間隔	ビーコン間隔を表示します。
タイプ	無線のモード「AP」または「Adhoc」を表示します。
SSID	ネットワーク名を表示します。
セキュリティ	無線が暗号化されているかどうかを表示します。
WPA	無線が WPA 暗号化されているかどうかを表示します。
バンド	無線のバンドを GHz で表示します。「2.4」は「IEEE 802.11b」または「IEEE 802.11g」、「5」は「IEEE 802.11a」を意味します。
チャンネル	無線のチャンネルを表示します。
レート	無線の通信速度を Mbps 単位で表示します。
信号強度	無線の信号の強さを 4 段階の棒グラフのアイコンで表示します。

総ビーコン数	受信したビーコンの総数を表示します。
直前のビーコン	最後にビーコンを受信した日時を表示します。
可能なレート	サポートしている無線の通信レートを表示します。太字で表示される数値は、ベーシックレートです。

表 15:

WDS

WDS 接続の接続状態、接続相手のアクセスポイントの RSSI 信号強度 (Received Signal Strength Indication) を表示します。表示の自動的な更新間隔は 5 秒です。表示画面を手動で更新すれば、最新の情報を取得できます。



この画面は WDS 接続のひとつが成立している状態です。

リモートアドレス	「詳細設定」 / 「WDS」 で設定した WDS 接続相手の MAC アドレスが表示されます。 WDS 接続の設定がない場合は「-」（ハイフン）が表示されます。
信号強度	接続相手の信号の強さを数値とグラフで表示します。 WDS 接続の設定がない、または接続相手が検出できない場合「0」が表示されます。
無線	WDS 接続に使用している無線バンドを「wlan0」（5GHz 帯）、「wlan1」（2.4GHz 帯）で表示します。 WDS 接続の設定がない場合は「-」（ハイフン）が表示されます。
接続中	WDS 接続相手と接続中であるか否かを「Yes」「No」で表示します。 「暗号化」が「WPA（PSK）」の場合、アソシエイト（接続相手を認識している状態）、認証ともに成功すると「Yes」となります。アソシエイトまたは認証に失敗すると「No」となります。 「暗号化」が「無し（プレーンテキスト）」や「WEP」の場合、接続中であるか否かに関係なく「-」（ハイフン）が表示されます。これは、これらの暗号化がアソシエイトを伴わないためです。 WDS 接続の設定がない場合も「-」（ハイフン）が表示されます。
チャンネル	無線のチャンネルを表示します。

	WDS 接続の設定がない、または接続相手が検出できない場合「-」（ハイフン）が表示されます。
レート	無線の通信速度を Mbps で表示します。 WDS 接続の設定がない、または接続相手が検出できない場合「-」（ハイフン）が表示されます。

表 16:

- 「接続中」の「Yes」と「No」が交互またはランダムに表示される場合は、「暗号化」の「キー」が WDS 接続相手と異なっている可能性があります。また、「No」が継続する場合は、SSID が WDS 接続相手と異なっている可能性があります。